

iD14

HIGH PERFORMANCE USB AUDIO INTERFACE



日本語ユーザー・マニュアル v1.1

audient iD14 をお買い上げいただき、誠に有難うございます。

iD14 は、Audient コンソールの音質を、コンパクトでエレガントなボックスの中に凝縮しました。

ワールドクラスの Audient マイクプリアンプを 2 機、高音質の Burr Brown AD/DA コンバーター、先進のモニターコントロール機能、JFET D.I、さらに革新的な Scroll Control、これら全てを備えているのです。

iD14 は、素晴らしい機能性と直感的なユーザーインターフェースで、即座に貴方のスタジオのセンターハブとして活躍してくれます。

主な特徴

- AD/DA コンバーター：2in 4out 高性能 Burr Brown AD/DA コンバーターを採用。高性能 24-bit / 96kHz AD / DA コンバーター
- 入力：Class-A Audient コンソールマイクプリアンプ 2 機 & 1ch のディスクリート JFET D.I 入力 1 系統のディスクリート JFET 楽器入力 (D.I)
- ヘッドフォンアンプ：独立 DAC 採用の高出力アンプ
- 独立 DA コンバーターによる高出力のヘッドフォンアンプ
- モニターコントロール機能 (ソフトウェアベース)
- **iD ScrollControl Mode (iD スクロールコントロール・モード)**
- 拡張用 ADAT 入力
- USB2.0 対応
- ローレイテンシー DSP ミキサー



もくじ

パッケージの内容		トラブルシューティング	25
ソフトウェア・ダウンロード	1	電源が入らない場合	25
日本語マニュアル・ダウンロード	1	コンピューターに接続しても音が出ない場合	25
電源アダプター	1	ProTools と外部機器のクロックが同期しない場合	26
		「iD ミキサー」の設定をデフォルトに戻したい場合	27
オーバービュー	2	スペシフィケーション	28
インストール方法 (Mac)	3		
セットアップ (Mac)			
ソフトウェアのダウンロード	3		
iD14 とコンピューターを接続する	3		
ステータス LED、接続の確認方法	4		
インストール方法 (Mac)	5		
セットアップ (Mac)	5		
ソフトウェアのダウンロード	5		
iD14 とコンピューターを接続する	5		
ステータス LED、接続の確認方法	6		
iD ミキサー アプリケーションの起動	7		
ハードウェア	8		
マイク入力 (プリアンプ) & ライン入力 (MIC/LINE 1~2)	8		
楽器入力 (D.I)、デジタル入力	9		
スピーカー出力、ヘッドフォン出力	9		
モニターコントロール	10		
メーター、ステータス LED	11		
Kensington ロック	11		
ソフトウェア	12		
入力チャンネル (チャンネルの種類)	12		
チャンネル・ストリップのコントロール	13		
ステレオ・リンク、便利な機能	14		
マスター・セクション	15		
チャンネル表示、ボリュームコントロール	17		
iD ボタンのプログラム変更	18		
ScrollControl	18		
Mono、Dim、トークバック	18		
システムパネル	19		
セットアップ画面	20		
出力ルーティング	21		
トークバックのアサイン、グースネックマイクを接続する	22		
ミキサー設定のセーブ&ロード	23		
キーボードのショートカット一覧	24		

パッケージの内容

iD14 のパッケージには、以下のハードウェアが同梱されています。

- iD14 本体
- 12VDC 電源アダプター（各国対応 AC プラグ付き）
- USB (A-B) ケーブル

※ソフトウェア（ファームウェア、iD ミキサー）やマニュアルは同梱されておりません。下記の web ページからダウンロードしてください。

ソフトウェア・ダウンロード URL

<http://audient.com/products/downloads/id14>

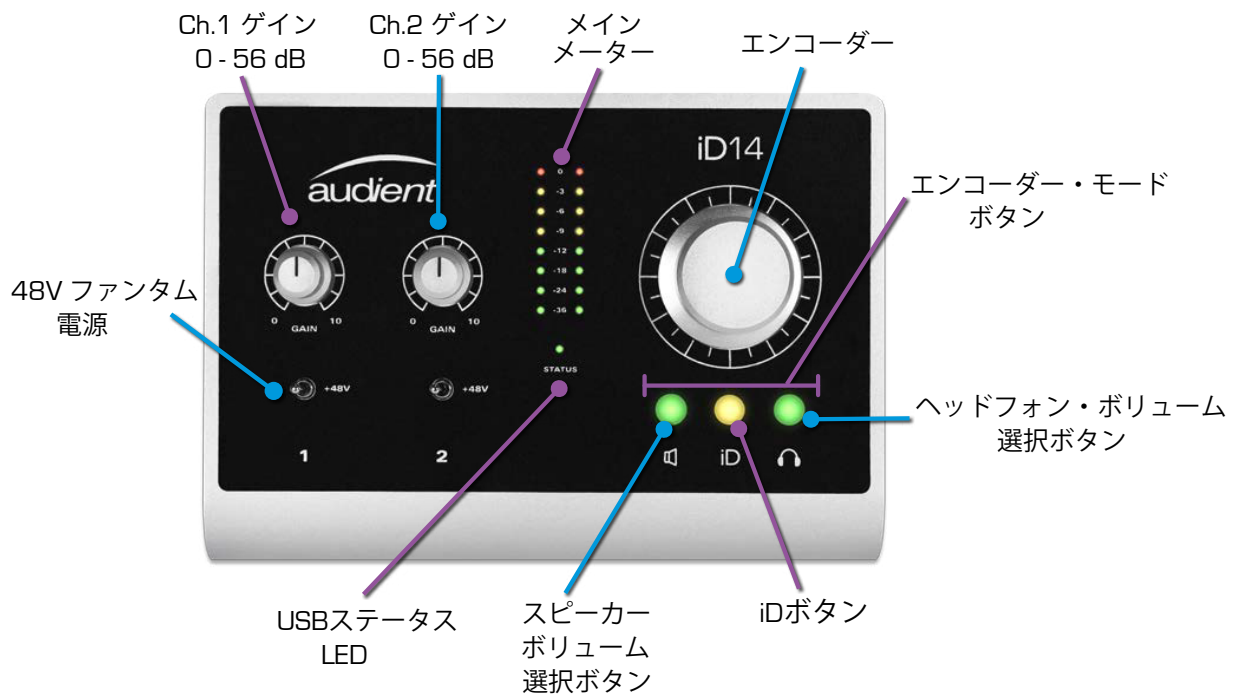
日本語マニュアル・ダウンロード URL

<http://allaccess.co.jp/audient/id14/>

電源アダプター

iD14 は USB 給電によるバスパワー駆動が可能です。ファンタム電源を使用する際は 12VDC のパワーサプライかを使用してください。付属のスイッチング型電源アダプターは、90 ~ 264V(47 ~ 63Hz) の交流 AC 電源に対応しており、日本国内でもそのままお使い頂けます。日本のコンセントに合った形状のコネクターを装着してご使用下さい。





インストール方法 : Mac OSX

動作環境

- OS : Mac OS10.8.5(Mountain Lion) 以降
- MAC : Intel CPU、1GB RAM 以上

セットアップ

1. 最新 iD ソフトウェア&ドライバーのダウンロード

最新バージョンの iD ミキサーソフトウェアを、下記 URL からダウンロードしてください。

ダウンロード URL : <http://audient.com/products/>

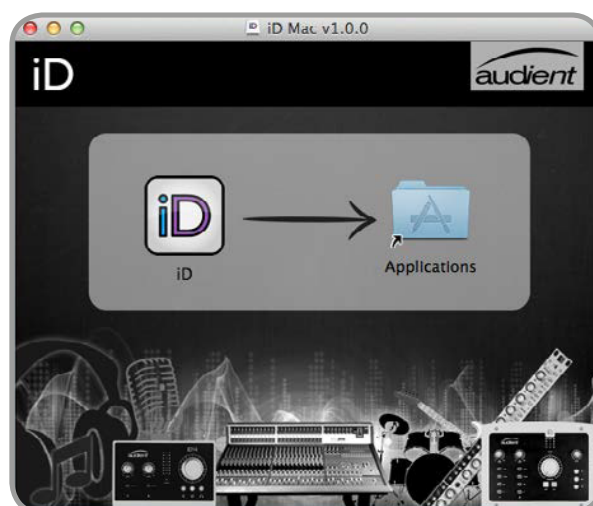
※ 製品一覧から iD14 を選択し、Download のタブをクリックします。

ダウンロードした .dmg ファイルを展開し、右図のようにアプリケーションファイルをハードディスク上にコピーしてください。



2. iD14 の接続

付属の USB ケーブルを使用して、iD14 を Mac の USB ポートに接続してください。ファンタム電源を使用する場合は、電源アダプターも iD14 本体に接続してください。

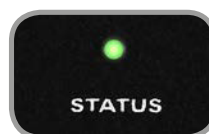


3. ステータス LED

接続が確立されると、STATUS LED が点灯します。

STATUS LED が点灯しない場合は、接続等を確認してください。

解決できない場合は ALL ACCESS サポートまでご連絡ください。

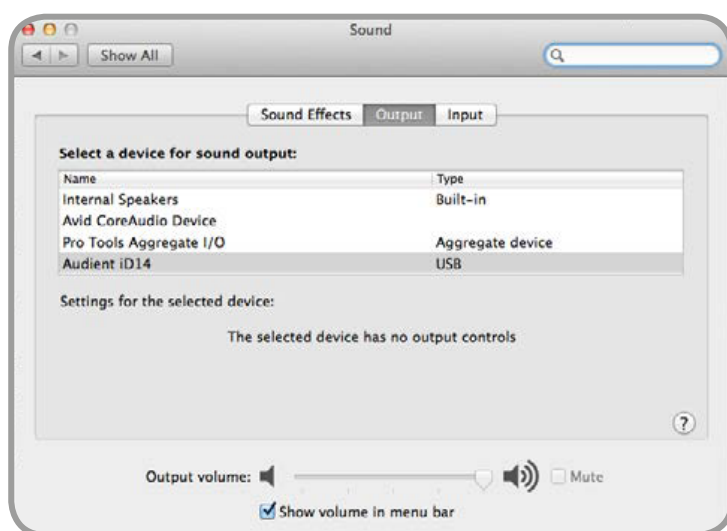


4. iD14 の接続を再確認する。

i/O デバイスとして正常に認識されているかの再確認は、

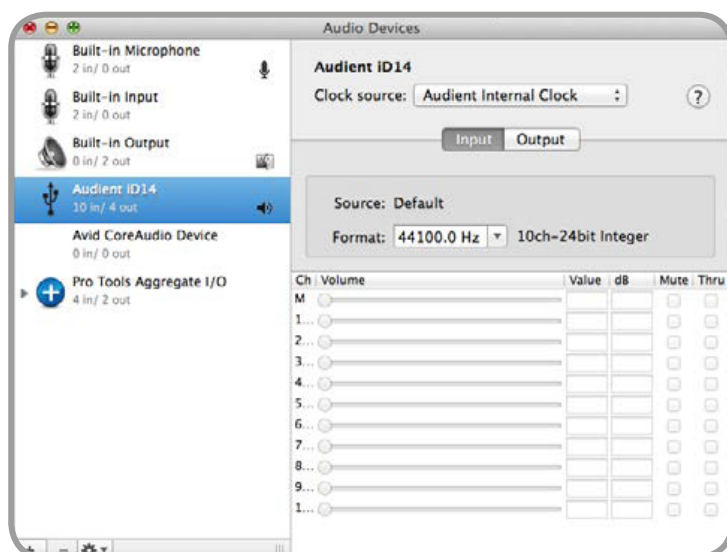
Macintosh HD > アプリケーション > システム環境設定

(図のように) で行えます。



Macintosh HD > アプリケーション > ユーティリティ

上の Audio MIDI セットアップでも同様に確認と接続設定が可能です。



インストール方法 : Windows

動作環境

- Windows 7 以降 (32 and 64 bit)
- Intel Core 2 @ 1.6 GHz or AMD
- 1 GB RAM 以上

セットアップ

1. 最新 iD ソフトウェア&ドライバーのダウンロード

最新バージョンの iD ミキサーソフトウェアを、下記 URL からダウンロードしてください。

ダウンロード URL : <http://audient.com/products/>

※ 製品一覧から iD14 を選択し、Download のタブをクリックします。

2. iD14 の接続

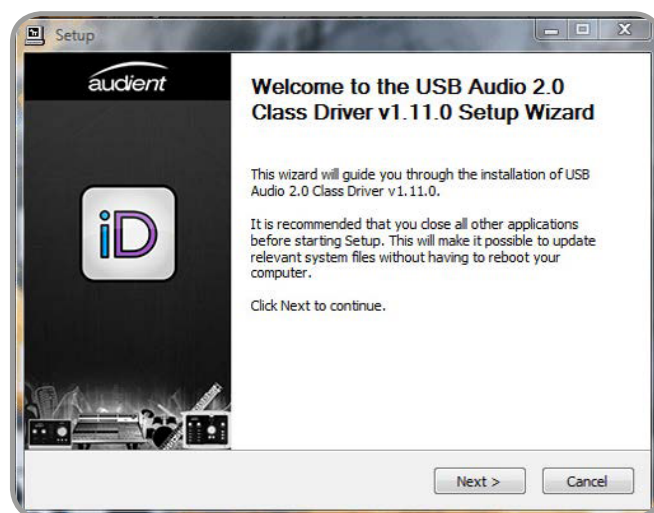
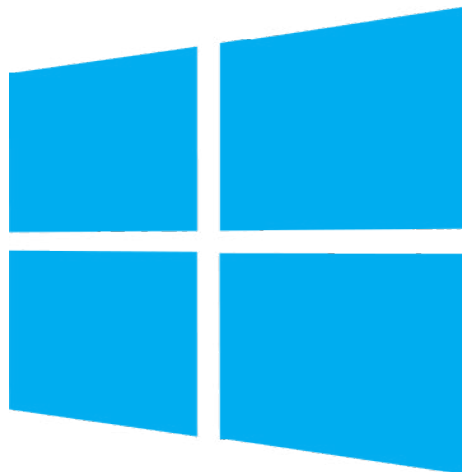
付属の USB ケーブルを使用して、iD14 を USB ポートに接続してください。ファンタム電源を使用する場合は、電源アダプターも iD14 本体に接続してください。

3. iD14 の接続

インストーラーをダブルクリックして、iD Mixer の Set up を開き、インストラクションに従ってインストールします。

4. PC の再起動

PC を再起動して、全てのドライバーが正常にインストールされたことを確認してください。



5. ステータス LED

PC との接続が確立されると、STATUS LED が点灯します。STATUS LED が点灯しない場合は、再度接続を確認してください。解決できない場合は ALL ACCESS サポートまでご連絡ください。



接続の再確認を下記のディレクトリから行ってください。

スタート>コントロールパネル>ハードウェアとサウンド>サウンド

6. iD アイコン

インストールが完了すると、iD アイコンが Window の System Tray に追加されます。

- ・アイコンをダブルクリックすると iD14 Mixer が開きます。
- ・右クリックでサンプルレート、バッファサイズ、レイテンシーセッティングを変更することができます。

レイテンシーとはデータ送受信時に発生する遅延のことです。ミキシング作業時は、レイテンシーを 'Standard'、バッファサイズを 256 に設定するとをお勧めします。レコーディング時は、低レイテンシー、低バッファ設定をお試しください。最低値は PC スペックに合った最適値を設定してください。

レイテンシー・モード

Minimum (最小レイテンシー設定) 1ms

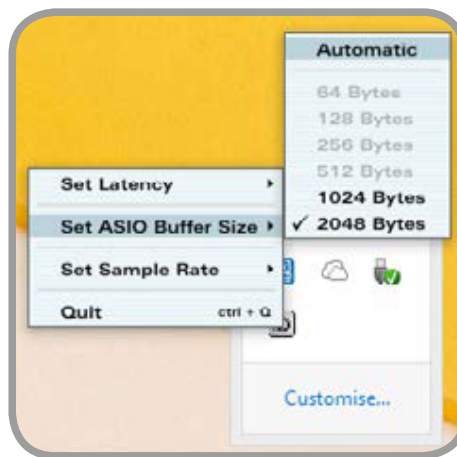
Low (低レイテンシー設定) 2ms

Standard (標準レイテンシー設定) 4 ms

Relaxed (余裕あるレイテンシー設定) 8ms

Safe (安全なレイテンシー設定) 16ms

Extra Safe (十分なレイテンシー設定) 32ms



iD ミキサー アプリケーションの起動

ミキサー・アプリケーションは、以下のフォルダーにあります。

【Macintosh の場合】

Macintosh HD > アプリケーション > iD



【Windows の場合】

スタート > すべてのプログラム > Audient > iD

「iD14 Mixer」は、iD14 が接続されている時のみ使用可能です。右クリックすると iD14 の終了、レイテンシーや ASIO のバッファ設定を行う事ができます。



ファームウェア・アップデートの確認

ファームウェアのアップデート方法は、以下の 2 通りあります。

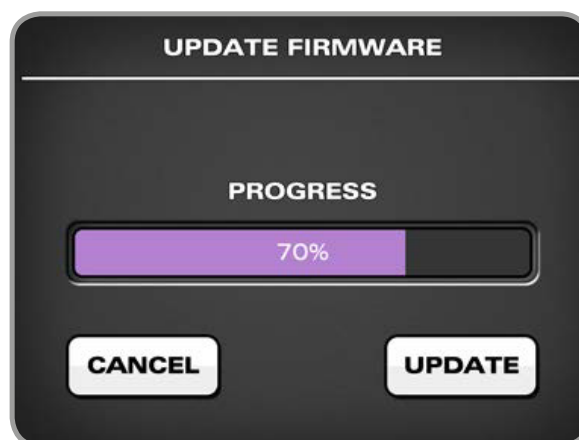
- ・メニューの「From file」から、ディスク上に保存された最新ファームウェアのファイルを使用する。
- ・「iD ミキサー」ソフトウェア上から更新情報を確認し、直接アップデートする。

ファームウェアのアップデート

「iD ミキサー」上で更新情報を確認すると、最新バージョンが図のように表示されます。NEXT をクリックするとアップデートが始まります。続く画面で UPDATE をクリックし、アップデートが完了したらウィンドウを閉じてください。



「iD ミキサー」上で更新情報を確認すると、最新バージョンが図のように表示されます。NEXT をクリックするとアップデートが実行されます。続く画面で UPDATE をクリックし、アップデートが完了したらウィンドウを閉じます。



マイク入力 (プリアンプ) & ライン入力 (MIC / LINE 1 ~ 2)

iD14 の両アナログ入力には、マイクプリアンプが搭載されています。

ディスクリートクラス A 回路を採用し、低ノイズで極めて歪みの少ないサウンドを生み出します。音質的には、スピード感に溢れ、オープンで正確なディティールが特徴です。

ノイトリック社製コンボ・ジャック 入力端子にはマイク / ラインどちらにも対応できるように、Neutrik 製の XLR / TRS コンボ・ジャックを採用しました。ライン信号もパッドされて (信号レベルを下げて) マイク・プリアンプ回路を経由します。

この設計は広いレンジの入力信号をオーバーロードすることなく、アナログ入力することが可能です。

注意:

ファンタム電源を仕様する際は、付属の 12VDC 電源アダプターを使用してください。



マイクプリアンプの仕様

- 56dB のクリーン・ゲイン
- 48V ファンタム電源 (チャンネル毎 / 10mA)
- > 2.8k Ω 入力インピーダンス
マイクの種類に関わらず、パンチのあるサウンドが得られるインピーダンスに設定しました。
- 位相反転スイッチと 10 dB ゲインブーストは iD ミキサーアプリケーション上で設定可能。



楽器入力 (D.I.)

「D.I.」入力端子は、JFET ベースのクラス A ノディスクリート・デザインの楽器用入力です。

この TS (アンバランス・チップ、スリーブ) ジャックに接続すると、チャンネル 1 が楽器入力になります。この入力はマイク / ライン入力よりも優先され、出力されます。位相反転スイッチはマイクを併用する時に、10dB ブーストは信号レベルが小さい時に使用します。



スピーカー出力

iD14 のスピーカー出力 (バランス接続) には、Audient のフラッグシップコンソールである、ASP8024 と同様の技術を使用しています。

出力部の Burr Brown DAC によるクリーンで、リニアなオーディオ信号はクリティカルなリスニングに最適な音質をスピーカーまで届けます。

その他複数のミュージシャンとのセッションのために、ヘッドフォンアンプを接続したり、1 ステレオ、もしくは 2 つのモノラル信号としても出力可能です。それらは iD ミキサーソフトウェアにて設定可能です。



デジタル入力

iD14 には、オプティカルデジタル入力が搭載されています。このデジタル端子は ADAT(8ch) と SPDIF(2ch) どちらにでも使用可能で、切替えは「iD ミキサー」ソフトウェアから行います。

両フォーマットでも最大サンプルレートは 96kHz です。ADAT は 44.1 / 48kHz 以外で使用する場合は、使用可能チャンネル数が 4 チャンネルに減ります。



ヘッドフォン出力

全面に設けられたヘッドフォン出力端子は、接続するヘッドフォンのインピーダンスの影響を受けにくい、ディスクリート高電流型ヘッドフォンアンプを搭載しています。ヘッドフォン出力用に独立した DAC を設け、非常に高い音質を確保しています。

ヘッドフォン出力へ送る音声は、「iD ミキサー」のソフトウェア上でアサインします。

iD14 本体には、エンジニアのリファレンスやレコーディングするミュージシャンのモニター以外にも、Y 字ケーブルを使用してスピーカー接続として使用することも可能です。

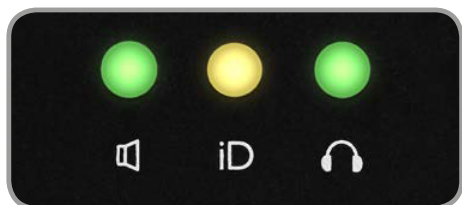


モニターコントロール

iD14 は Audient の大型コンソールと同等のモニタリング・コントロール機能を搭載しています。各モニターの音量は、iD14 本体のカスタムアルミ製エンコーダーとエンコーダーボタンで操作します。

これにより、ヘッドフォン出力とスピーカー出力の音量バランスを個別に調整し、マッチングさせることも iD14 のみで行うことができます。

3つのエンコーダーボタンはエンコーダーのモード選択用に用意されています。選択されたボタンが点灯します。



スピーカー、ヘッドフォン選択ボタン

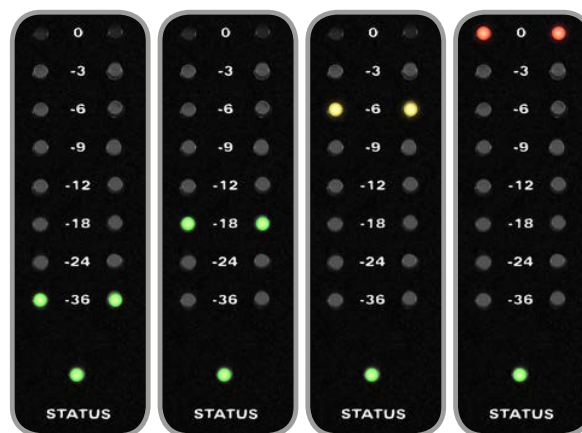
スピーカーボタン(右)、ヘッドフォンボタン(左)を選択すると、それぞれの出力レベルの調整ができます。エンコーダーを押すとそれぞれミュートされます。ミュート状態の時には、エンコーダーボタンが点滅します。

iD ボタン



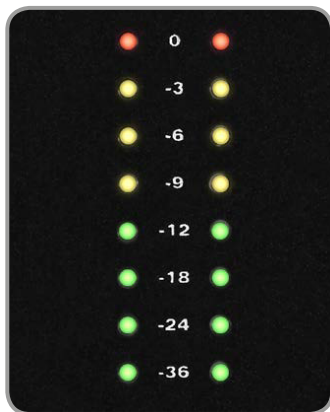
iD ボタンには iD14 の特筆すべき機能の一つ『Scroll Control モード』がアサインされています。エンコーダーにスクロール・ホイール機能をアサインして、DAW のオートメーション等、様々な機能へのアクセスが可能になります。

また、ファンクション（トークバックや位相反転等）のアサインボタンとしても利用できます。iD ボタンにファンクションがアサインされている状態では、エンコーダーは直前に選択された音量をコントロールします。



メーター

8段階のLEDメーターが搭載されています。このピークメーターは、信号レベルの表示はデジタルレコーディング用に合わせてあります。



ステータス LED

STATUS LED は、iD14 とコンピューターの USB 経由の接続状態を表示します。



Kensington ロック

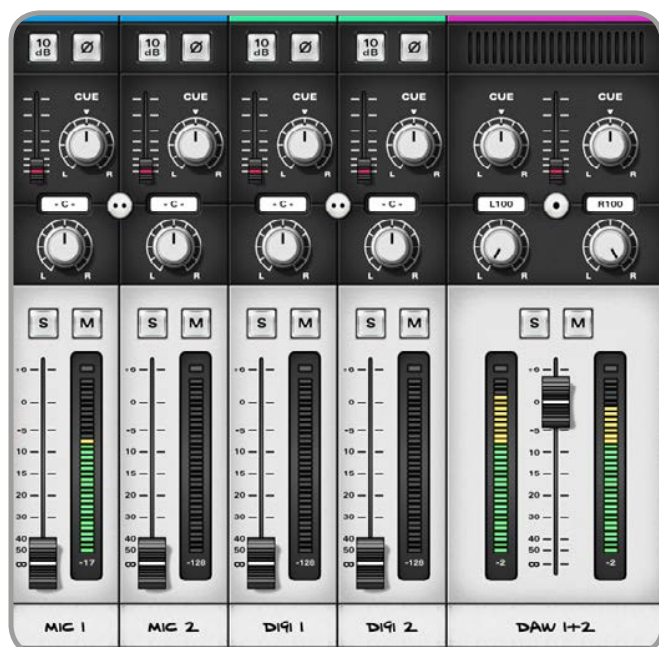
iD14 の側面にはケンジントン・ロック取付け用の穴があります。学校や設備で使用する際の盗難防止に活用してください。



入力チャンネル (チャンネルの種類)

「iD ミキサー」で各チャンネルに、3 種類の入力から選択できます。入力の種類によって、チャンネル上部のカラーコードが異なります。

- アナログ入力 (入力 1 ~ 2) : 青
- デジタル入力 (SPDIF、ADAT) : 緑
- DAW ミックス (プレイバック 1 ~ 4) : 紫



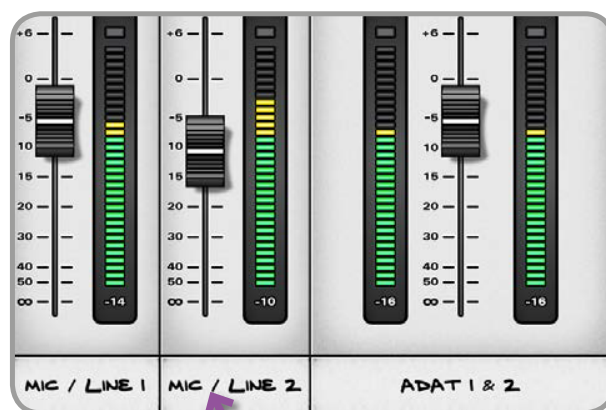
アナログ入力とは、インサートのリターンからの信号等で、AD コンバーターを通過した信号です。「マイク入力」「ライン入力」「ch1 の D.I.」へ入力された信号です。

デジタル入力とは、SPDIF (2ch) または ADAT (最大 8ch) へ入力された信号です。

DAW ミックスとは、2 組のステレオペアの DAW 中にあるバーチャル・ミックスです。

これらのミックスは、DSP ミキサー上、cue ミックス又は DA コンバーターを通過した信号として出力端子からモニターすることができます。DAW の出力をこれらのミックスに設定すると DAW の音声を送られます。

また、iD ミキサーは大型コンソールにトラック名をテーピングする様に、各チャンネルに名前を付けることができます。

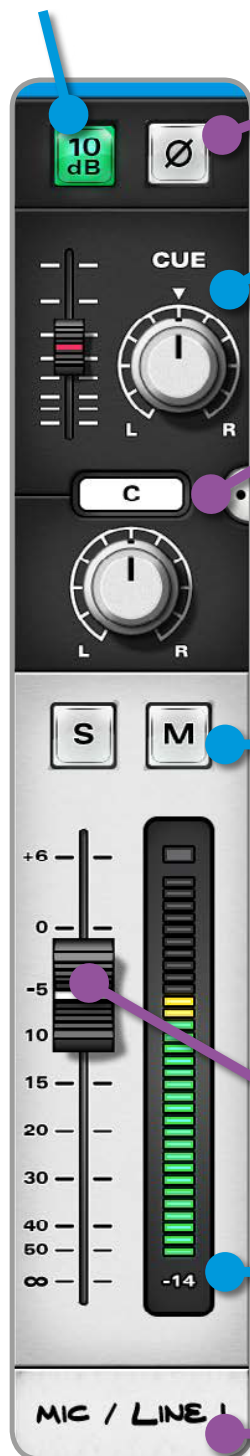


この箇所を「バスドラム」とネーミングすることができます。

チャンネル・ストリップのコントロール ※ Alt + クリックで全てクリアされます。

ゲイン・ブースト

+10dB のゲイン・ブースト



位相反転スイッチ

信号の位相を反転します。

CUE センド

Level (0 dB ~ オフ)

Pan (ステレオ CUE 使用時)

パラメーター表示ボックス

通常は、PAN の設定値が表示されています。チャンネルコントロールにマウスを重ねると、そのパラメーターの設定値が表示されます。

ソロ (S) & ミュート (M)

チャンネルのソロ (S) とミュート (M) をオン / オフします。

ラッチ仕様の為、クリックする度にオン / オフが切り替わります。

※既にソロ状態のトラックがある時、別のトラックの「ソロ (S)」にマウスを合わせ Mac[Command+ クリック] Win[Ctrl+ クリック] で最初のトラックソロが解除され、クリック後のトラックがソロ状態になります。

※ソロ状態のトラックの「ソロ (S)」にマウスを合わせ Mac[Command+ クリック] Win[Ctrl+ クリック] すると、全てのトラックのソロが解除されます。

チャンネルフェーダー

範囲 : +6dB ~ オフ

チャンネルメーター

レンジは 66dB です。ピークホールド機能により、一度信号がピークに達するとピーク表示が点灯し続けます。ピーク表示をクリックすると、ピーク情報の表示がリセットされます。

チャンネルラベル

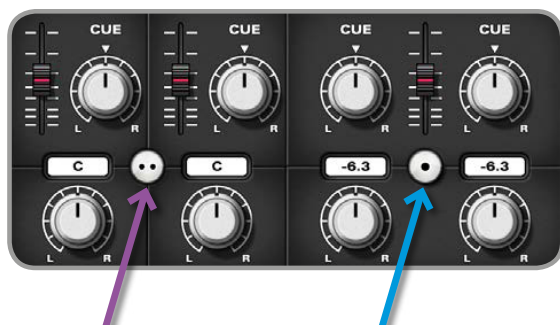
各チャンネルに 8 文字の名前を付けることができます。

ステレオ・リンク

全てのチャンネルがステレオ・リンク可能です。

レベルのコントロールは1つになりますが、PAN は両チャンネルとも定位の設定は可能です。

設定、コントロール機能は以下の通りです。



リンクされていない場合

- 各レベルのコントロール
- 各 PAN

リンクされている場合

- 共通のレベルのコントロール
- 各 PAN

便利な機能

- 「iD ミキサー」上での全てのコントロールは、マウス操作時に目視し安いように色が変わります。
- 全てのコントロールは、マウスのスクロールホイールに対応しています。



マスター・セクション

メイン・メーター

レンジは 66dB です。

iD14 中の DSP ミックス・バスの出力レベルを表示します。本体の LED メーターは、それと同じレベルを表示します。

メーターのキャリブレーション

0 ~ 6dBFS : 1dB ステップ

-8 ~ -56dBFS : 2dB ステップ

ピークホールド機能により、一度信号がピークに達するとピーク表示が点灯し続けます。ピーク表示をクリックすると、ピーク情報の表示がリセットされます。

Alt + クリックで全てクリアされます。

システムパネルボタン

クリックすると、iD14 のセットアップとルーティングマトリクスが表示されます。

エンコーダーモード・アイコン

アイコンはミュート等、出力状態を表示します。

メイン出力コントロール

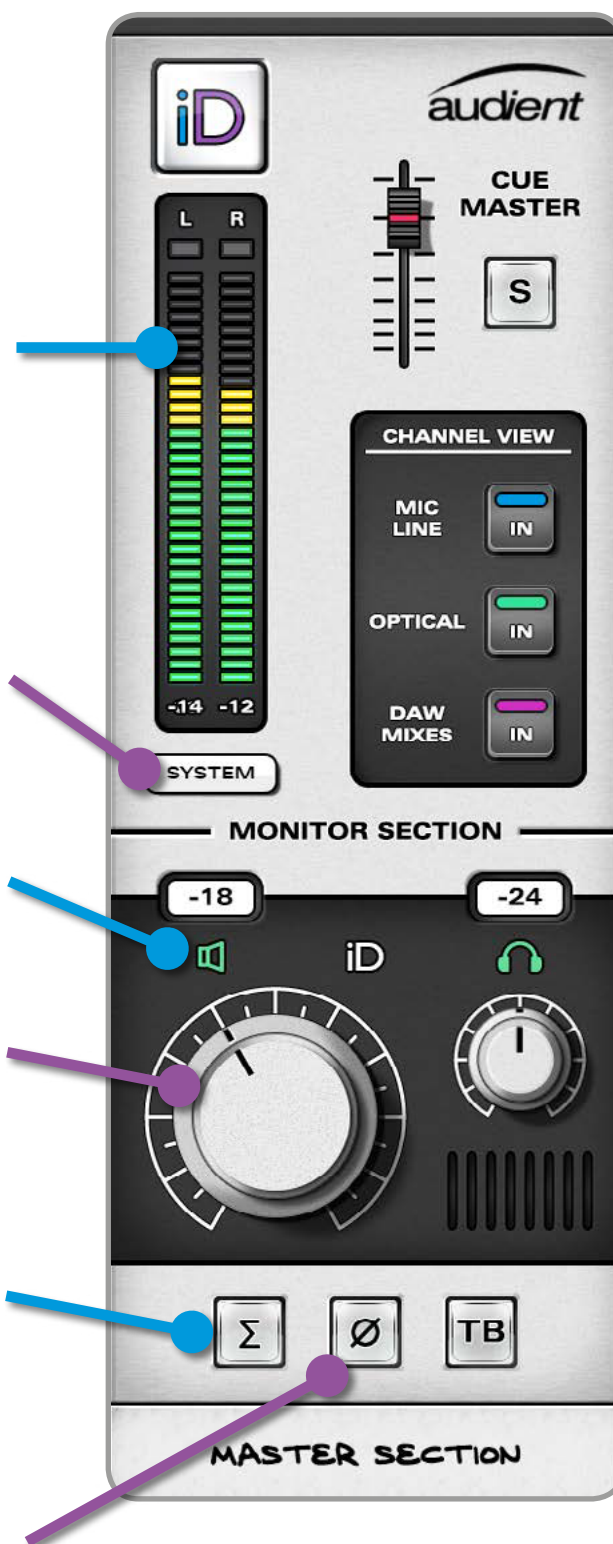
ソフトウェアのメイン出力をコントロールします。マウスでドラッグして調整します。

Mono Sum ボタン

iD14 の DSP ミキサー出力を L&R を合わせたモノラル音声にします。

位相反転ボタン

ステレオ音声の片チャンネルの位相 (左チャンネル) を反転させます。また、このボタンを選択すると自動的にモノラルにサミングされます。リバーブの要素だけを聴きたい時や、ミックスに埋もれた信号を探すのに便利な機能です。



マスター・セクション



CUE マスターの音量

CUE の音量を調整します。

範囲 : 0dB ~ オフ

CUE マスターのソロ

オンにした Cue ミックスをソロで聴くことができます。

チャンネル表示ボタン

使用チャンネルのレイアウト・カスタマイズが可能です。

Mac ショートカット :

cmd + 1 Mic/Line

cmd + 2 Optical

cmd + 3 Daw Mixes

Windows ショートカット :

ctrl + 1 Mic/Line

ctrl + 2 Optical

ctrl + 3 Daw Mixes

iD モードボタン

右クリックで iD ボタンにアサインされる機能を選択します。

ヘッドフォン出力ノブ

ヘッドフォン出力をコントロールします。マウスでドラッグすることで調整可能です。

トークバックボタン

このスイッチがオンの時、トークバックにアサインされた入力信号が CUE と DAW に送られます。

チャンネル表示

下図は「アナログ入力」+「DAW ミックス」で構成されています。オプティカルデジタル端子を使用しないでレコーディングを行う場合、このようなレイアウトを推奨します。



ボリュームコントロール

出力メーターに表示されているのは、「iD ミキサー」DSP ミックス・バスの出力レベルです。この信号がルーティング画面の「MAIN MIX」にルーティングされ、本機の出力端子に送られます。

この出力が、モニタースピーカー等にも送られるメイン出力になります。出力は iD14 本体のボリューム・ノブでコントロールします。



音量をコントロールするためには、エンコーダーボタンでスピーカー出力、ヘッドフォン出力のいずれかを選択した状態でエンコーダーを回します（右イメージ）。もしくは、ソフトウェア上でコントロール（左イメージ）してください。

エンコーダーノブを押すとミュートがかかります。押し続けるとモメンタリー・モードとして、タップするとラッチモードとして機能します。ミュート時は、選択された出力のエンコーダーボタンが点滅します。

iD ボタンのプログラム変更

本機の iD ボタンは、様々な機能を割り当てることができます。「iD ミキサー」上で、iD ボタンスイッチに割り当てたい機能を右クリックし、リスト内から選択します。



ScrollControl

エンコーダーノブをマウスのスクロール・ホイールとして使用するモードです。スクロール・ホイールが有効なプラグインや DAW において、リニアなパラメーター調整が可能です。

基本的には、コントロールしたいパラメーターの上にマウスオーバー、もしくはクリックして使用します。DAW メーカー、プラグインメーカーの違いによって、反応が異なります。反応がイメージ通りではない場合は、コンピューターのスクロールスピードの調整をお試しください。

Mono

このスイッチをオンにすると、ステレオ信号をモノラル信号にして出力します。ネット配信やコンピューター用の音源をミックスする時に便利な機能です。

Mono + Polarity

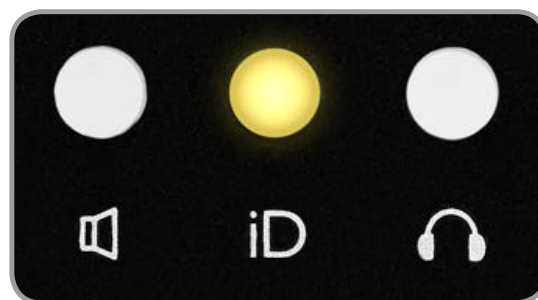
このスイッチをオンにすると、ステレオ信号の L チャンネルの位相かを反転し、モノラルになります。この組み合わせは、モノラル信号が「L+R」ではなく「L-R」になるため、センターの定位の音がキャンセルされます。リバーブの要素だけを聴きたい時や、ミックスに埋もれた信号を探すのに便利な機能です。

Dim

Dim オンの減衰レベルは、-15dB です。トークバックをオンにすると、Dim も自動的にオンになります。

トークバック

レコーディング時は、iD ボタンをトークバックに設定すると便利です。ページ 22 の項目を参照ください。



システムパネル

マスター・セクションにある「SYSTEM」をクリックすると、システムパネルが表示されます。ここではトークバックチャンネルのアサイン、デジタル入力の設定、モノラルモードの設定、出力ルーティング等が設定できます。

表示のショートカットは、

Mac : Command + 4 Win : Ctrl + 4 です。



iD14 のオプティカル入力を使用する際は、接続先のデバイスがクロックマスターになります。接続先のデバイスにおいてサンプルレートを設定し、iD14 の Clock Source 選択を Optical に設定します。Clock Source の STATUS を確認し、接続を確認してください。STATUS ランプの表示は以下の3種類です。

レッド – クロック信号が認識できていない状態です。

イエロー – クロック信号は認識していますが、サンプルレートが異なる状態です。

グリーン – 正常に動作しており、iD14 がクロックシンクしている状態です。

セットアップ画面

デジタル入力のフォーマット

デジタル入力（オプティカル）のフォーマットを設定します。

- ADAT (44.1 ~ 48kHz の場合は 8ch / 88.2kHz ~ 96kHz の場合は 4ch)
- SPDIF (2ch)

クロックソース

クロックのソースを「内部クロック (INTERNAL)」と「外部のクロック (OPTICAL)」から選択します。

使用する DAW セッションとサンプルレートを一致させることが必須です。

ステータス LED

外部クロックと正常にロック (同期) を表示します。

トークバックの設定

トークバック入力を設定します。全ての入力を選択できます。トークバックの音声は Cue にのみ送られるため、ループによるフィードバックが起る心配はありません。

Mono モード

Mono Sum をオンにした時の、スピーカーの定位を設定します。

- L or R: 選択した側のスピーカーのみ鳴らします。
- C: 2 台のスピーカーで、擬似的なモノラルをセンター定位で再生します。

ルーティングマトリクス

スピーカー出力、ヘッドフォン出力へアサインするモニターミックスを選択します。

セーブ&ロード

ミキサー設定のセーブ、ロードを行います。



出力のルーティング

ルーティング画面で「iD ミキサー」の各ミックスを、どの出力にルーティングするかを決めます。
ルーティングできるミックスは下記の 3 種類です。



メインミックス

iD ミキサーのメインフェーダーに立ち上がっている信号が、ミックスされて出力されます。基本的に、スピーカー出力にアサインして使用します。

Cue ミックス

マスター・セクションにある Cue マスターの信号を出力にアサインします。ヘッドフォンミックスを作るときに使用するとよいでしょう。

DAW ミックス

iD14 のモニターセクションをバイパスした信号を出力します。エンコーダーによるボリューム調整ができなくなりますので、スピーカー出力には大きな信号が流れます。本体を使用する前に、ルーティングを再度確認することを強くお勧めいたします。

注意：

Cue ミックス、Daw ミックスを使用する際は、スピーカーに出力されるレベルに最新の注意を払ってください。iD ミキサーのフェーダーを下げ、音量を下げた状態で Cue、Daw ミックスを選択してください。

トークバックのアサイン

トークバックにアサインされたチャンネルは、「iD ミキサー」上のチャンネル名が「TALK BACK」に自動的に変更され、コントロールもトークバック用に変更されます。

トークバックとして使用可能なチャンネルは、「TALKBACK ASSIGN」のプルダウン・メニューに表示されます。



グースネックマイクを接続する

1～2いずれの入力が空いている場合、トークバックにグースネックマイクを使用すると、ボーカリストやドラマーとコミュニケーションしやすく便利です。グースネックがファンタム電源を必要とする場合は、付属の電源アダプターを使用してください。



トークバック・チャンネルストリップ

いずれかの入力チャンネルがトークバックに設定されると、チャンネル名とコントロールがトークバック仕様に自動変更され、トークバック信号を送る Cue A のレベルと、PAN がコントロール可能になります。

そのチャンネル「パラメーター情報」には、どの入力がトークバックに使用されているかが表示されます。

トークバックのオン／オフは、「iD ミキサー」画面上の「TB」スイッチで行います。本体の iD ボタンに割り当てて操作することも可能です。



ミキサー設定のセーブ&ロード

ミキサーの設定を、プリセットとしてセーブ&ロードする事ができます。

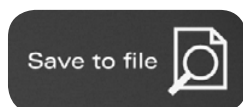
- システム画面の下部にある「SAVE」「LOAD」をクリック。
- キーボードのショートカットを利用する。
- セーブ: Mac - Cmd (⌘) + S Windows - Ctrl + S
- ロード: Mac - Cmd (⌘) + O Windows - Ctrl + O

セーブする

プリセットをセーブする時、名前を付ける事が可能です。システムパネルの「SAVE MIXER CONFIGURATION」にある名前のボックスをダブルクリックして、プリセット名を入力してください。



「Save to file」をクリックすると、保存先や保存名を決定するウィンドウが開きます。名前を付けて、便利なロケーションに保存してください。



プリセットをロードする場合は、システム画面の「LOAD」をクリックしてください。図のように一覧が表示されます。

プリセット名を変更したい場合、プリセット名を1度クリックしてハイライトし、再びクリックしてから名前を入力してください。

プリセットを消去する場合はプリセット名を1度クリックしてハイライトし、画面下の「x」をクリックしてください。



キーボードのショートカット一覧

操作対象	コマンド	詳細
フェーダー	Alt (⌘) + Click	フェーダーをユニティーゲイン (0 dB) にリセット
パン (Pan)	Alt (⌘) + Click	PAN をセンターにリセットします
ソロ (S)	Command (⌘) + Click	ソロ (S) が オンの チャンネル で クリックすると全てのソロが解除されます。ソロがオフのチャンネルでクリックすると、他のソロ (S) がオンのチャンネルをリセットし、選択したチャンネルのみソロがオンにします。
メーター	Meters Alt (⌘) + Click	クリップしたピーク表示のクリアします。
システム画面	Command (⌘) + S	使用中ミキサーの状態をプリセットとしてセーブします。
	Command (⌘) + O	プリセットをロードします。
画面表示	Command (⌘) + 1	「アナログ入力」を表示します。
	Command (⌘) + 2	「デジタル入力」を表示します。
	Command (⌘) + 3	「DAW ミックス」を表示します。
	Command (⌘) + 4	システム画面を表示します。

電源が入らない場合

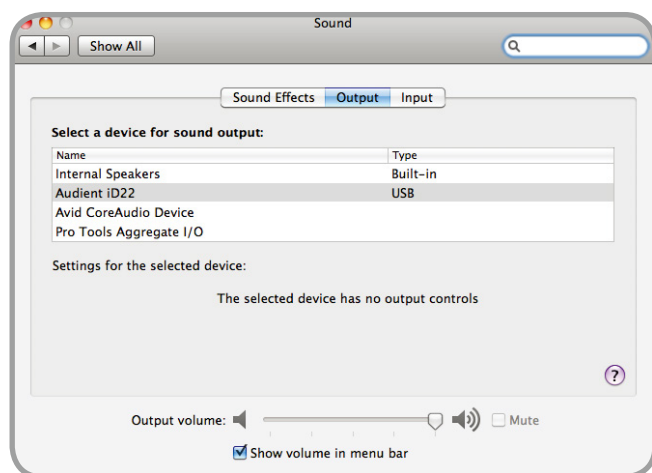
- 電源アダプターの接続を確認してください。
- 電源アダプターが正しく動作しているか、サービスにチェックを依頼してください。

※ 技術経験のない方によるテスター等の測定器を使用した計測は絶対に避けてください。ケガや破損の危険性があります。



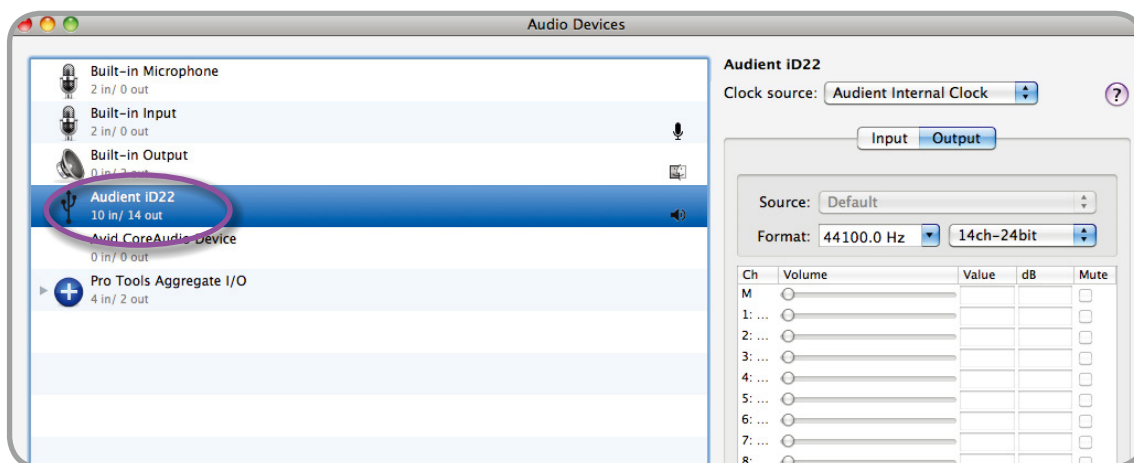
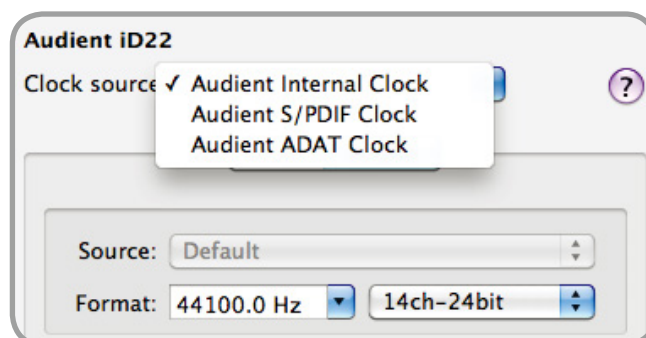
コンピューターに接続しても音が出ない場合

- USB ケーブルが正しく接続を確認してください。
- 「iD ミキサー」ソフトウェアを立ち上げ、コンピューターの本機認識を確認してください。
- DAW のチャンネル出力設定が、iD14 にアサインされているか確認してください。
- 「iD ミキサー」のフェーダーが上がっているか確認してください。
- iD14 が出力デバイスとして設定されているか確認してください。
- Mac の場合 : システム環境設定 > サウンド > 出力のタブ > USB デバイス
- Windows の場合 : スタートメニュー > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > サウンド



ProTools と外部機器のクロックがロック（同期）しない場合

- iD14 がオーディオ・デバイスとして認識されているかを確認してください。
Mac の場合：アプリケーション > ユーティリティ > Audio MIDI 設定
Windows の場合：スタートメニュー > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > サウンド
- 「iD ミキサー」上で、クロックのソースが正しく設定されているかを確認してください。内部クロックをクロック・マスターにする場合は「Internal」を、外部機器をマスターにする場合は使用している入力フォーマット（ADAT または SPDIF）を選択してください。
- サンプルレートが正しく設定されているかを確認してください。DAW の設定と「iD ミキサー」の設定（プルダウン・ウィンドウで設定）を同一にしてください。



「iD ミキサー」の設定をデフォルトに戻したい場合

「iD ミキサー」ソフトウェアを閉じ、下記のフォルダーにある「state.xml」と表示されたファイルを消去してください。

Mac の場合 : ユーザー > ライブラリ > Application Support > Audient > iD

Windows の場合 : C: > Program Files > Audient > USBAudioDriver

※フォルダーは消去しないでください。

Knowledge Base

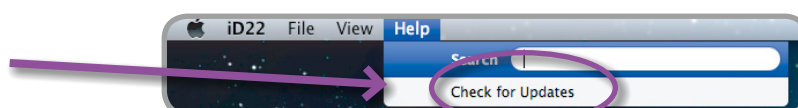


Search

ファームウェアが最新のバージョンか知りたい場合

- メニューバーの「HELP」から「Check for Updates」から確認できます。アップデートも、この画面から行うこともできます。
- ホームページで最新バージョンの情報を確認できます。ファイルをダウンロードしてアップデートすることも可能です。

The screenshot shows the Audient Help Desk interface. At the top, there's a navigation bar with links: home, knowledge base, submit a request, and check your existing requests. The main content area is titled 'Submit a request' and contains several input fields: 'Your email address *', 'Product *' (a dropdown menu), 'Serial Number' (with a note: 'To help us quickly identify your unit please enter the serial number. It can be found on the back of most units, or the side of ASP008.'), 'Subject *', and 'Description *' (with a note: 'Please enter the details of your request. A member of our support staff will respond as soon as possible.').



マイク・プリアンプ (ADC シグナルパスにて測定)

マイク・ゲイン: 0 ~ +60 dB (10 dB ソフトウェアブースト含む)
 ライン・ゲイン: -10 ~ +56 dB (-10dB Pad)
 ファンタム電源: 48V ± 4V @ 10mA (12VDC アダプター仕様時)
 マイク EIN (等価入力雑音): <-127.0dBu
 CMRR (同相信号除去比): >80dB @ 1kHz
 最大入力レベル: +12dBu (0 dBFS digital maximum)
 入力インピーダンス (Mic): 2.8k Ω バランス
 入力インピーダンス (Line): >8k Ω バランス
 周波数特性: ± 0.1 dB 20Hz ~ 22kHz @ 最小ゲイン
 ± 1.0 dB 20Hz ~ 22kHz @ 最大ゲイン
 クロストーク: <-90dBu
 THD+N @ 0dBu (1kHz): <0.0025% (-92 dBu)
 SN 比: 96dB (負荷なし), 99 dB (A 特性負荷)
 XLR: ピン 2 (ホット)、ピン 3 (コールド)、ピン 1 (シールド)
 1/4" ジャック: チップ (ホット)、リング (コールド)、スリーブ (シールド)

D.I (チャンネル 1)

D.I ゲイン: 0 ~ +66 dB (10 dB ソフトウェアブースト含む)
 最大入力レベル: +9 dBu (0.6% THD)
 入力インピーダンス: >500k Ω アンバランス
 周波数特性: ± 0.1dB 20Hz ~ 22kHz
 THD+N @ 0dBu (1kHz): <0.04%
 SN 比: 96dB
 1/4" ジャック: チップ (ホット)、リング (コールド)、スリーブ (シールド)

ADC ライン入力 (マイクプリアンプスルー状態にて AES-17 に基づき測定)

最大入力レベル: +12 dBu (0 dBFS digital maximum)
 デジタル・リファレンスレベル: +12 dBu = 0 dBFS
 入力インピーダンス: >10k Ω バランス
 周波数特性: ± 0.1 dB 10Hz ~ Fs/2 (flat to nyquist)
 クロストーク: -100 dBu @ 1kHz & 10kHz
 THD+N @ -1dBFS (1kHz): <0.002% (-94dB)
 THD+N @ -6dBFS (1kHz): <0.0015% (-96.5 dB)
 ダイナミックレンジ: 113 dB (負荷なし), 116 dB (A 特性負荷)

DAC 出力

(1 ~ 2 / AES-17 に基づきライン出力にて測定)

最大出力レベル: +12dBu
 デジタル・リファレンスレベル: +12 dBu = 0 dBFS
 出力インピーダンス: <100 Ω
 周波数特性: 10Hz ~ Fs/2 (± 0.1dB)
 クロストーク: -105dBu @ 1kHz & 10kHz
 THD+N @ -1dBFS (1kHz): <0.003% (-90.5 dB)

ダイナミックレンジ: 114dB (負荷なし)、117dB (A 特性負荷)
 1/4" TRS ジャック: チップ (ホット)、リング (コールド)、スリーブ (シールド)

ヘッドフォン出力 / DAC 3 & 4

(AES-17 に基づきヘッドフォン出力にて測定)

最大出力レベル: +12dBu
 デジタル・リファレンスレベル: +12 dBu = 0 dBFS
 出力インピーダンス: <30 Ω アンバランス
 周波数特性: 5Hz ~ Fs/2 (+/-1.0dB)
 クロストーク: <-100dBu @ 1kHz & 10kHz
 THD+N @ -1dBFS (1kHz): <0.002% (-94 dB)
 ダイナミックレンジ: 108dB 負荷なし、111dB (A 特性負荷)
 1/4" ジャック: チップ (ホット)、リング (コールド)、スリーブ (シールド)

DIGITAL 入力:

ADAT 8 チャンネル使用可能: 44.1 ~ 48kHz 時
 ADAT 4 チャンネル使用可能: 88.2 ~ 96kHz 時
 STEREO S/PDIF (オプティカル): 44.1 - 96kHz

USB2.0 HIGH SPEED

バスパワー駆動: 500mA @ 5V
 425mA @ 5V (ファンタム電源無し)
 (ファンタム電源は 12VDC アダプター接続時のみ使用可)

最大合計入力チャンネル数: アナログ × 2、デジタル × 8

最大合計出力チャンネル数: アナログ × 4

DSP ミキサーレイテンシー: ラウンドトリップ

44.1kHz 1.660ms

48.0kHz 1.531ms

88.2kHz 0.844ms

96.0kHz 0.771ms



audient 日本輸入総代理店

株式会社 オールアクセス

〒490-1116 愛知県あま市本郷三反地 21 E-mail : audient@allaccess.co.jp

www.allaccess.co.jp/audient/

